

第1回湖北広域行政事務センター施設整備計画検討会 概要

1. 開催日時 平成27年6月3日（水） 午前9時55分～午後0時00分
2. 開催場所 湖北広域行政事務センター クリスタルプラザ（長浜市八幡中山町200番地）
工場棟 3階 小会議室
3. 出席者 12名（委員8名 事務局4名）
4. 議題（1）委員長、副委員長の選任
（2）センター施設の現況、センター施設整備計画の基本方針の改訂
（3）今後の検討会の予定

5. 会議

（内容）

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委員長、副委員長の選出
- 4 会議の公開について
- 5 説明事項・質疑
- 6 今後の予定
- 7 その他
- 8 閉会

（開会）

午前9時55分開会

（挨拶）

センター管理者より開会の挨拶。

（委員長、副委員長の選出）

委員長として金谷委員、副委員長として及川委員を選出。

（会議の公開について）

「湖北広域行政事務センター情報公開条例【抜粋】」に基づき、本会議を公開することについて説明。

（説明事項）

- 1 センター施設の現況説明
- 2 基本方針の改訂について説明

（斎場を含めて維持管理の効率性や経済性に基づき、点在する各施設の集約化整備を前提としたい。）

(質疑)

1 および 2

(委員) 資料に施設の集約化のメリット・デメリットがあるが、斎場と廃棄物処理施設との集約化整備のメリット・デメリットになっていない。また、集約化において、管理側のメリットしかなく、利用者側のメリットがみえない。それらを記載すべきである。

・斎場については、葬儀を執り行うこととの兼ね合いがあり、火葬時間、移動時間などの時間的制約があり、集約化整備において、このことの検討が必要ではないか。

・斎場利用の時間的制約もあるので、施設の集約化について、1 箇所の場合と 2 箇所の場合の比較検証も必要ではないか。

・施設の集約化の考え方については、用地取得の兼ね合いもあるので、あまり厳格な縛りをしないほうがよい。それとともに、集約化についての表現も検討した方がよい。

・集約化した施設整備の事例の資料をもっと出してほしい。

(事務局) 了承。時間的制約等について検証し、資料を精査する。

(委員) クリスタルプラザ(廃棄物処理施設)については平成 41 年まで使用期限の地元協定があるが、斎場についてはそういった期限があるのか。また、この期限に合わせて整備するのか。

(事務局) 斎場について地元協定はないが、施設が老朽化していること、およびその財源について補助金がないため、合併特例債を考えており、早い時期に更新したい。

(委員) 廃棄物処理施設と斎場の必要敷地面積はどれくらいか。

(事務局) 前回の検討のときに、廃棄物処理施設が約 2.6 ヘクタールで、斎場が約 1 ヘクタールぐらいで、緩衝帯や建替え時の必要面積等も考慮すると、約 4.5 ヘクタールから 5 ヘクタールが必要になると考えている。

(委員) 施設の集約化だが、平成 32 年期限合併特例債利用の斎場整備と、平成 41 年期限のクリスタルプラザ(廃棄物処理施設)次期施設の整備で、10 年ほど開きがあるので、まとめて用地取得を行うと、地価が下落により、取得費用が余計にかさむのではないか。

(事務局) 用地取得の際の地価の変動についての判断は難しい。

(委員) 斎場整備だが、仮に合併特例債を利用して整備し、こもれび苑(斎場)を閉鎖し、平成 32 年から新斎場を稼動する場合、既存の他の斎場(木之本、余呉等)の運用はどうなるのか。

(事務局) すべての他の施設を一度に閉鎖することは考えていない。使用できる施設は使用できるところまで使用したい。整備後の詳細な運用についてはまだ詰めていない。

(委員) 湖北広域は、長浜市と米原市で構成されているが、最終処分場は米原市に、斎場についてはすべて長浜市にあるが、施設設置の役割分担等が両市にあるのか。

(事務局) 基本的に両市で役割分担があるとは考えていない。斎場が長浜市に集中しているのは、合併の関係によるものである。

(今後の予定)

事務局で調整し、連絡する。

(その他)

特になし。

(閉会)

午後 0 時 00 分閉会

以上